

2025年第51週(12月15日～12月21日)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

感染症発生動向調査

名古屋市感染症発生動向調査情報

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部)

2025年(令和7年)12月24日作成

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/eisei/1015269/1015388/index.html>

◆本市の状況

〔定点把握感染症の発生動向〕

インフルエンザの定点当たり患者報告数は34.42で前週比0.8倍に減少しましたが、「警報レベル」の「30」を上回っています。

〔1類～5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾病名	発生数	発生の概要
2025年第51週	2類	結核	11	男性、63歳、肺結核 男性、83歳、肺結核 女性、26歳、肺結核 男性、84歳、肺結核 女性、22歳、肺結核 男性、22歳、肺結核 女性、0歳、無症状病原体保有者 女性、61歳、無症状病原体保有者 男性、81歳、無症状病原体保有者 男性、73歳、無症状病原体保有者 男性、74歳、無症状病原体保有者
2025年第51週	3類	腸管出血性大腸菌感染症	1	女性、63歳、感染地域：不明、血清群・毒素型：O157 ベロ毒素 VT2
2025年第51週	5類	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	男性、82歳、孤発性プリオント病(その他)
2025年第51週	5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	女性、75歳 男性、63歳
2025年第51週	5類	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	1	男性、45歳、AIDS、感染経路：異性間性的接触、感染地域：国内

2025年 第51週	5類	侵襲性インフルエンザ 菌感染症	1	男性、89歳、菌検出検体：血液
2025年 第51週	5類	梅毒	10	男性、32歳、早期顕症梅毒2期 男性、27歳、早期顕症梅毒2期 男性、20歳、早期顕症梅毒2期 女性、19歳、早期顕症梅毒2期 女性、20歳、早期顕症梅毒2期 女性、19歳、早期顕症梅毒2期 女性、24歳、早期顕症梅毒2期 男性、42歳、無症状病原体保有者 男性、48歳、無症状病原体保有者 女性、25歳、無症状病原体保有者
2025年 第51週	5類	播種性クリプトコック ス症	1	女性、79歳、菌検出検体：髄液、感染地域： 不明
2025年 第51週	5類	百日咳	11	男性、11歳、検査方法：核酸増幅法による 病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 女性、46歳、検査方法：臨床決定、感染地 域：名古屋市 女性、13歳、検査方法：核酸増幅法による 病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 男性、45歳、検査方法：核酸増幅法による 病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 女性、49歳、検査方法：核酸増幅法による 病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 男性、11歳、検査方法：核酸増幅法による 病原体遺伝子の検出、感染地域：不明 女性、10歳、検査方法：核酸増幅法による 病原体遺伝子の検出、感染地域：不明 男性、15歳、検査方法：核酸増幅法による 病原体遺伝子の検出、感染地域：不明 男性、44歳、検査方法：核酸増幅法による 病原体遺伝子の検出、感染地域：不明 女性、21歳、検査方法：核酸増幅法による 病原体遺伝子の検出、感染地域：不明 男性、13歳、検査方法：鼻咽頭拭い液検体 からのイムノクロマト法による病原体抗原

				の検出・抗体の検出、感染地域：名古屋市
--	--	--	--	---------------------

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾病名	発生数	発生の概要
2025年 第50週	5類	カルバペネム耐性腸内 細菌目細菌感染症	1	男性、55歳、菌検出検体：尿、菌種： <i>Escherichia coli</i> 、感染経路：その他
2025年 第50週	5類	後天性免疫不全症候群 (HIV感染症を含む)	1	男性、62歳、無症状病原体保有者、感染経 路：異性間性的接触、感染地域：国内
2025年 第50週	5類	侵襲性インフルエンザ 菌感染症	1	女性、72歳、菌検出検体：血液
2025年 第50週	5類	梅毒	3	女性、27歳、早期顕症梅毒1期 女性、27歳、早期顕症梅毒1期 男性、64歳、無症状病原体保有者
2025年 第50週	5類	百日咳	1	女性、6歳、検査方法：核酸増幅法による病 原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔2025年 1類～5類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾病名	累計
1類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2類感染症	急性灰白髄炎	0
2類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	347(103)
2類感染症	ジフテリア	0
2類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属 SARS コロナ ウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロ ナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3類感染症	コレラ	0

3 類感染症	細菌性赤痢	0
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	71(15)
3 類感染症	腸チフス	0
3 類感染症	パラチフス	0
4 類感染症	E 型肝炎	5(2)
4 類感染症	A 型肝炎	3
4 類感染症	チクングニア熱	1
4 類感染症	日本紅斑熱	5
4 類感染症	マラリア	2
4 類感染症	レジオネラ症	58
4 類感染症	レプトスピラ症	1
5 類感染症	アメーバ赤痢	8
5 類感染症	ウィルス性肝炎	3
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	34【1】
5 類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	4
5 類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	3【1】
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	29
5 類感染症	後天性免疫不全症候群（HIV 感染症を含む）	38(27)
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	27【1】
5 類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	3
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	82
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	14
5 類感染症	梅毒	528(157)
5 類感染症	播種性クリプトコックス症	3
5 類感染症	破傷風	2
5 類感染症	百日咳	953
5 類感染症	麻しん	6
5 類感染症	薬剤耐性アシнетバクター感染症	1

累計は 2025 年第 1 週からの診断週による累計、() 内は無症状病原体保有者累計患者数を再掲、[] 内は疑似症累計患者数を再掲、【 】内は感染症死者の死体累計患者数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計患者数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計患者数を再掲。対象疾病が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾病のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔愛知県麻しん・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻しん・風しんは全数把握対象となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻しん・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。

調査結果については下記のリンク先(愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ)

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>をご覧ください。

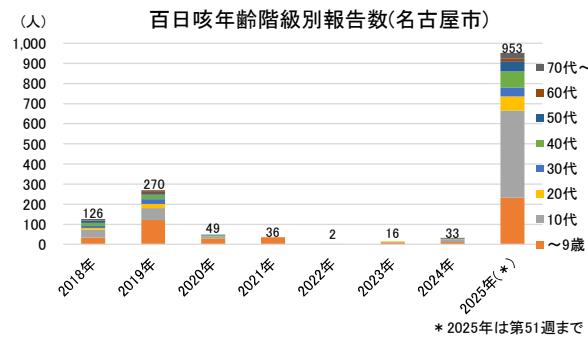
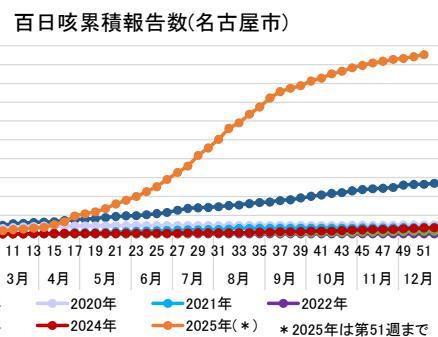
〔定点医療機関からの情報〕

定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

インフルエンザ B 型が 1 人いました。	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 型：55 名 インフルエンザ B 型：5 名	定点医療機関（西区）
インフルエンザ A 型：33 名 インフルエンザ B 型：0 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型：23 名 インフルエンザ B 型：0 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型（男性：56 名、女性：47 名） インフルエンザ B 型（男性：1 名、女性：1 名） 急性呼吸器感染症 (男性：195 名、女性：148 名) 計 343 名	定点医療機関（南区）
インフルエンザ A 型：39 名 インフルエンザ B 型：9 名	定点医療機関（守山区）
マイコプラズマ肺炎：1 名	定点医療機関（名東区）
インフルエンザ減少	定点医療機関（名東区）
マイコプラズマ肺炎数名います。	定点医療機関（中区）

〔名古屋市の百日咳報告数〕

- 本市における百日咳の2025年第1週から第51週までの累積報告数は953人です。2025年は上半期に百日咳の報告数が全国的に増加していましたが、9月ごろから減少してきています。
 - 百日咳は、百日咳菌による急性の気道感染症で、特有のけいれん性の激しい咳発作（痙咳発作）を特徴とします。世界中でみられ、特に乳児や小児に多い疾患です。母体からの免疫が不十分な乳児は早期に罹患する可能性があり、肺炎や脳症を合併し、まれに死に至ることがあります。
 - 感染経路は、鼻咽頭や気道分泌物による飛沫感染や接触感染です。
 - 症状は次の3段階で進行し、全体で約2~3ヶ月の経過をたどります。
 - カタル期（約2週間）：かぜ症状で始まり、咳の頻度と激しさが増します。
 - 痙咳期（約2~3週間）：けいれん性の咳発作が特徴的で、乳児では無呼吸やチアノーゼ、けいれん、呼吸停止が生じることがあります。
 - 回復期（約2~3週間）：咳発作が徐々に減少し、回復に向かいます。
 - 治療には抗菌薬が用いられます。
 - 予防策として、5種混合ワクチン（DPT-IPV-Hib）等の接種が有効です。



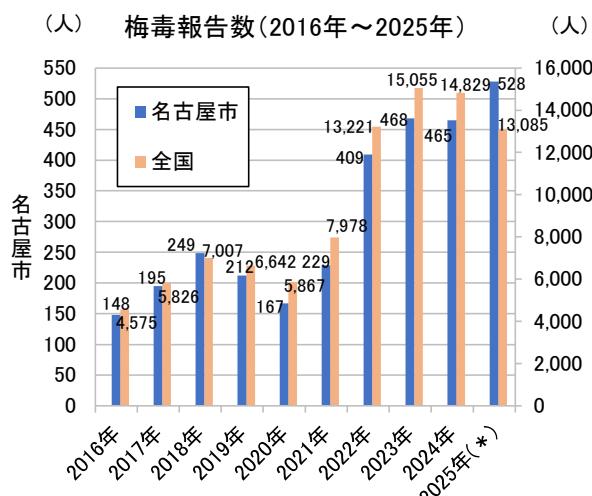
注1) 1年間を52週間に分けています

注2) このグラフは、百日咳報告数を1週間ごとに集計したものです。

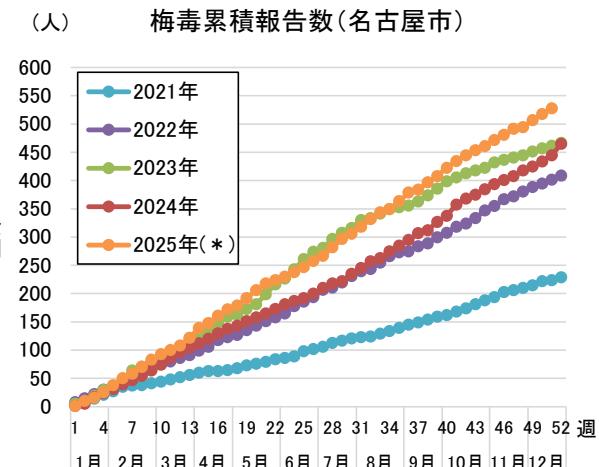
注3) 第51週まで

〔名古屋市の梅毒報告数〕

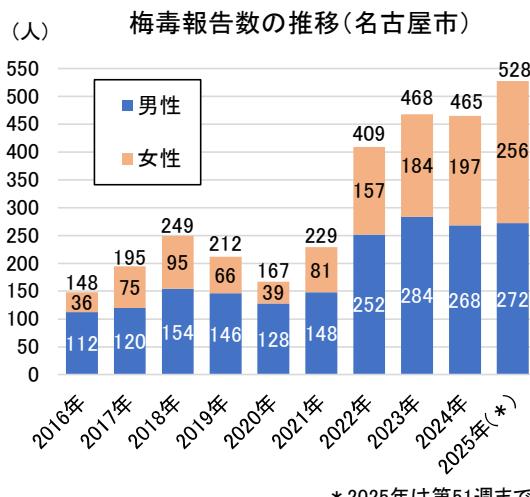
- 本市における梅毒の2025年第1週から第51週までの累積報告数は528人です。近年、梅毒の報告数が全国的に増加しており、本市における2025年の報告数は第46週目で過去最多となりさらに更新しています。（「梅毒累積報告数（名古屋市）」を参照）
- 梅毒は、梅毒トレポネーマという病原体による感染症で、感染経路は感染部位と粘膜や皮膚との直接接触（性的接触）です。
- 梅毒の症状は、時間の経過とともに局所から全身に広がっていきます。症状が一時的に消失しても治療を行わないと病気は進行します。また、感染しても症状が現れない場合や治っても再度感染することがあります。
- 妊婦が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児も感染し、死産や早産、先天梅毒を起こす可能性があります。
- 梅毒の治療には抗生物質が用いられます。



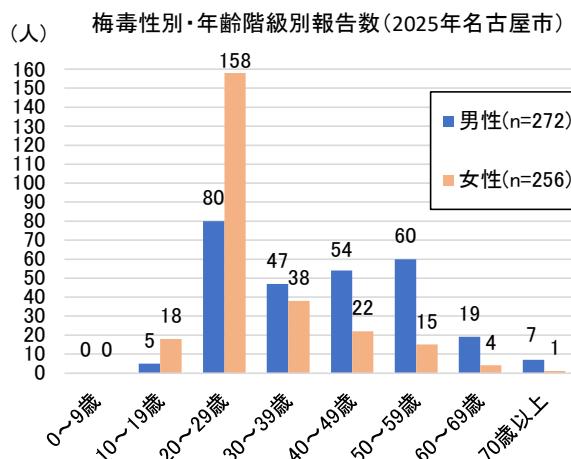
* 2025年は名古屋市は第51週、全国は第50週まで



* 2025年は第51週まで



* 2025年は第51週まで

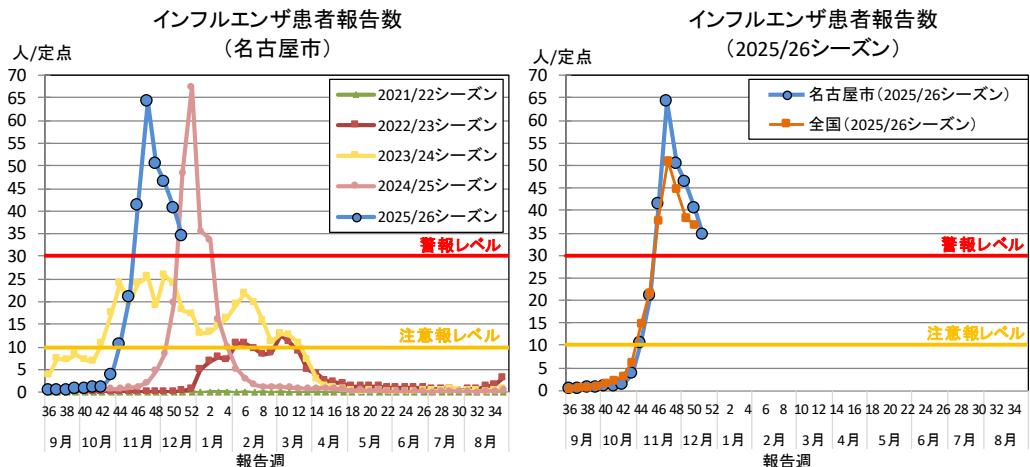


注) 第51週まで

[トピックス：インフルエンザ（2025/26シーズン）]

- 本市における2025年第51週（12月15日～12月21日）の市内50定点からのインフルエンザ患者報告数は1721人と前週比0.8倍に減少しましたが、定点当たり患者報告数は34.42で、「警報レベル」の「30」を上回っています。
- 2025/2026シーズンの集団かぜ（インフルエンザ様疾患）において、名古屋市衛生研究所で実施したPCR検査の結果、インフルエンザウイルスのうちA/H3亜型ウイルス遺伝子が検出されました。
- インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症です。主な感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染があります。
- 感染後、1日から3日程度の潜伏期間を経て、発熱（38℃以上）、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等が出現し、咳、鼻水等の上気道炎症状が現れます。いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強いのが特徴です。
- 高齢者や乳幼児などは重症化することがあるので、特に注意が必要です。
- インフルエンザの治療には抗ウイルス薬が用いられます。
- インフルエンザの重症化予防にはワクチン接種が有効です。

〔名古屋市のインフルエンザ患者報告数：2025年12月24日作成〕



定点当たり患者報告数の推移

	第43週 (10/20～ 10/26)	第44週 (10/27～ 11/2)	第45週 (11/3～ 11/9)	第46週 (11/10～ 11/16)	第47週 (11/17～ 11/23)	第48週 (11/24～ 11/30)	第49週 (12/1～ 12/7)	第50週 (12/8～ 12/14)	第51週 (12/15～ 12/21)
名古屋市 (2025/26)	3.68 [184]	10.54 [527]	20.86 [1043]	41.22 [2061]	64.34 [3217]	50.38 [2519]	46.40 [2320]	40.56 [2028]	34.42 [1721]
愛知県	3.64	11.50	19.60	39.56	60.16	55.73	53.37	51.79	-
全国	6.29	14.90	21.82	37.73	51.12	44.99	38.51	36.96	-
名古屋市 (昨シーズン)	0.70	0.70	1.06	1.27	2.07	4.76	8.43	19.77	48.27

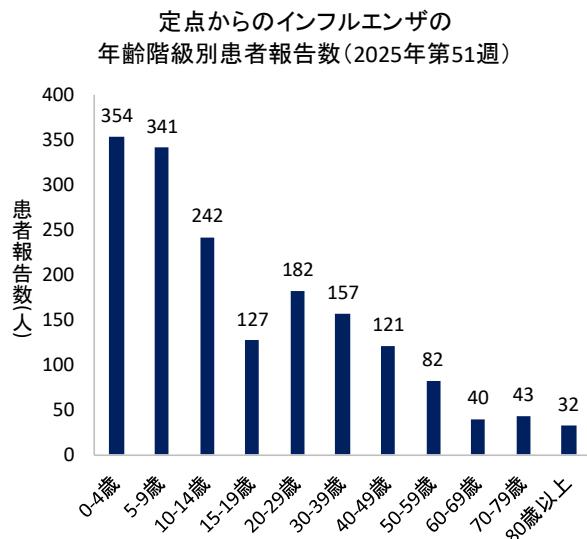
※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警報の基準

※患者報告数は各週公表時における速報値

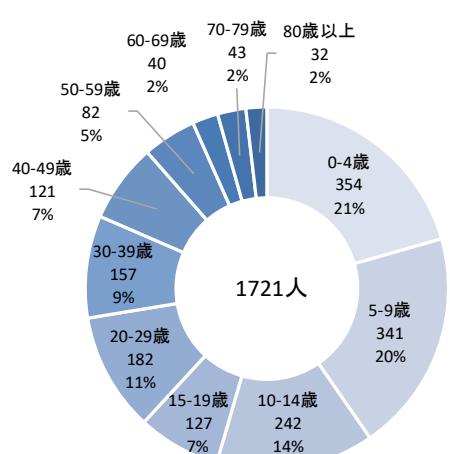
※[]内は名古屋市内50定点からの患者報告数

※2025年4月7日（第15週）から急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスが開始されるとともに定点医療機関数が変更されました。

第15週以降は変更後の定点医療機関数を使用して図表を作成しています。



年齢階級別患者報告数(2025年第51週)の割合



〔インフルエンザ関連リンク〕

・インフルエンザ情報（名古屋市）

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/eisei/1015269/1015388/1034411/1015408.html>

・インフルエンザ（総合ページ）（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou_kekkaku-kansenshou/infu influenza/index.html

・インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立健康危機管理研究機構）

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/graphdata/020/index.html>



◆2025年第51週 患者報告数（疾病別）、定点当たり患者報告数（疾病別）、

年齢階級別患者報告数（疾病別）

患者報告数(名古屋市)

2025年第51週(2025年12月15日～12月21日)

疾病名/区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比※
☆インフルエンザ	105	88	61	324	84	102	47	20	30	138	53	157	178	143	148	43	1721	0.8	1.1
☆新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	5	2	1	4	7	2	3	2	3	3	1	5	7	5	2	2	54	0.9	0.1
○RSウイルス感染症	1			3	2					3			1	2	1	13	1.3	3.5	
○咽頭結膜熱		1		2						6						1	10	0.7	0.2
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	3	1		2					10	3		2	1	12	38	1.2	0.5	
○感染性胃腸炎	24		6	19	6	8	3			16	4	5	6	21	15	8	141	1.1	0.5
○水痘					1					1	1	1					4	0.6	1.2
○手足口病																	0		
○伝染性紅斑	1	1		2		1				1	1		1				8	0.7	2.0
○突発性発しん																1	1	0.5	
○ヘルパンギーナ				1													1	0.8	
○流行性耳下腺炎												1					1	0.3	1.0
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎																	2	2	
◇細菌性結膜炎																	0		
◇無菌性結膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎								4									4		
◇クラミジア肺炎																	0		
◇感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		
☆急性呼吸器感染症(ARI)	184	272	236	638	115	260	42	20	57	321	61	416	317	280	425	106	3750		
	324	367	305	994	216	373	99	42	90	499	124	585	511	451	605	163	5748	0.9	

☆○△◇は定点種別を示す。

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

※2025年4月7日(第15週)から急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスが開始されるとともに定点医療機関数が変更されました。

※過去3年の同週の平均値との比
※新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は過去2年の同週との比

定点当たり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市)

2025年第51週(2025年12月15日～12月21日)

疾病名/区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ	26.25	44.00	15.25	81.00	28.00	51.00	23.50	10.00	15.00	34.50	17.67	52.33	44.50	35.75	49.33	10.75	34.42
*新型コロナウイルス感染症(COVID-19)																	1.08
RSウイルス感染症	0.33			1.50	1.00					1.00			0.25	1.00	0.50	0.42	
咽頭結膜熱		1.00		1.00						2.00					0.50	0.32	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33	3.00	0.50		1.00					3.33	1.50		1.00	0.25	6.00	1.23	
感染性胃腸炎	8.00		3.00	9.50	3.00	8.00	3.00			5.33	2.00	2.50	3.00	5.25	7.50	4.00	4.55
水痘				0.50						0.33	0.50	0.50				0.13	
手足口病																	
伝染性紅斑	0.33	1.00		1.00		1.00				0.33	0.50		0.50			0.26	
突発性発しん															0.50	0.03	
ヘルパンギーナ				0.50												0.03	
流行性耳下腺炎												0.50					0.03
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎																2.00	0.18
急性呼吸器感染症(ARI)	46.00	136.00	59.00	159.50	38.33	130.00	21.00	10.00	28.50	80.25	20.33	138.67	79.25	70.00	141.67	26.50	75.00

警報対象疾病	開始基準値		終息基準値		基準値
	千種	東	北	西	
インフルエンザ	30		10		10
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	—		—		—
RSウイルス感染症	—		—		—
咽頭結膜熱	3		1		—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8		4		—
感染性胃腸炎	20		12		—
水痘	2		1		1
手足口病	5		2		—
伝染性紅斑	2		1		—
突発性発しん	—		—		—
ヘルパンギーナ	6		2		—
流行性耳下腺炎	6		2		3
急性出血性結膜炎	1		0.1		—
流行性角結膜炎	8		4		—
急性呼吸器感染症(ARI)	—		—		—

流行警報・注意報について	
■ 太字の数字 は流行警報	
■ 省略の数字 は流行警報	
■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。	
■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。	

* 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の区分定点当たり患者報告数は計上しておりません。

年齢階級別患者報告数(名古屋市)

2025年第51週(2025年12月15日～12月21日)

疾病名/年齢階級 カ月	0～5 カ月	6～11 カ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～ 14	15～ 19	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80歳 以上	計
インフルエンザ	11	28	74	88	58	95	88	64	80	56	53	242	127	182	157	121	82	40	43	32	1721
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	1	3	5	2	1	1	1			1	2	2	4	5	3	7	4	5	7	54	
疾病名/年齢階級 カ月	0～5 カ月	6～11 カ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～ 14	15～ 19	20歳 以上	計						
RSウイルス感染症	1	2	3	2	1				2		1		1								13
咽頭結膜熱		1	1	1	4	1	1					1									10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	2	5	3	5	5	4	2	2	3	1	5						38	
感染性胃腸炎	10	24	14	15	8	9	11	6	3	4	12	2	23							141	
水痘					1		2					1									4
手足口病																					0
伝染性紅斑			1		2	1		2		1	1										8
突発性発しん				1																	1
ヘルパンギーナ											1										1
流行性耳下腺炎						1															1
疾病名/年齢階級 カ月	0～5 カ月	6～11 カ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～ 14	15～ 19	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70歳 以上	計	
急性出血性結膜炎																					0
流行性角結膜炎																					2
疾病名/年齢階級 カ月	0歳	1～4	5～9	10～ 14	15～ 19	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50～ 54	55～ 59	60～ 64	65～ 69	70歳 以上	計				
細菌性結膜炎																					0
無菌性結膜炎																					0
マイコプラズマ肺炎			2	2																	4
クラミジア肺炎																					0
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																					0
疾病名/年齢階級 カ月	0歳	1～4	5～9	10～ 14	15～ 19	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80歳 以上	計								
急性呼吸器感染症(ARI)	134	1009	639	327	166	262	290	235	274	163	133	118	3750								

患者報告数および定点当たり患者報告数の推移(名古屋市)

疾病名/調査週			第42週 (10/13～ 10/19)	第43週 (10/20～ 10/26)	第44週 (10/27～ 11/2)	第45週 (11/3～ 11/9)	第46週 (11/10～ 11/16)	第47週 (11/17～ 11/23)	第48週 (11/24～ 11/30)	第49週 (12/1～ 12/7)	第50週 (12/8～ 12/14)	第51週 (12/15～ 12/21)								
	患者報告数	定点当たり患者報告数																		
インフルエンザ	55	184	527	1043	2061	3217	2519	2320	2028	1721										
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	139	138	121	104	120	121	79	80	61	54										
RSウイルス感染症	32	43	27	12	20	16	12	10	10	13										
咽頭結膜熱	5	6	4	8	12	5	10	0	15	10										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	39	37	35	37	33	26	34	31	38										
感染性胃腸炎	80	82	94	96	96	116	63	130	129	141										
水痘	2.58	2.65	3.03	3.10	3.10	3.74	2.03	4.19	4.16	4.55										
手足口病	5	5	1	4	2	6	3	14	7	4										
伝染性紅斑	16	15	9	17	24	7	7	6	11	8										
突発性発しん	2	7	3	4	2	5	4	5	2	1										1
ヘルパンギーナ	9	11	5	2	4	0	1	1	0	0										0
流行性耳下腺炎	0.03	0.03	0	0	0	0	0	0	0	0										0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										0
流行性角結膜炎	4	6	2	2	7	4	2	0	8	2										2
細菌性結膜炎	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0										0
無菌性結膜炎	0	0.67	0	0	0	0	0	0	0	0										0
マイコプラズマ肺炎	9	8	7	15	4	13	11	12	4	4										4
クラミジア肺炎	3.00	2.67	2.33	5.00	1.33	4.33	3.67	4.00	1.33	1.33										
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										0
急性呼吸器感染症(ARI)	2625	3124	3830	3950	4837	5463	4382	4283	3993	3750										
定点当たり患者報告数	52.50	62.48	76.60	79.00	96.74	109.26	87.64	85.66	79.86	75.00										

(患者報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

◆入院サーベイランス

基幹定点医療機関（市内3医療機関：北区、昭和区、中川区）より、インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による入院患者の発生状況が毎週報告されています。

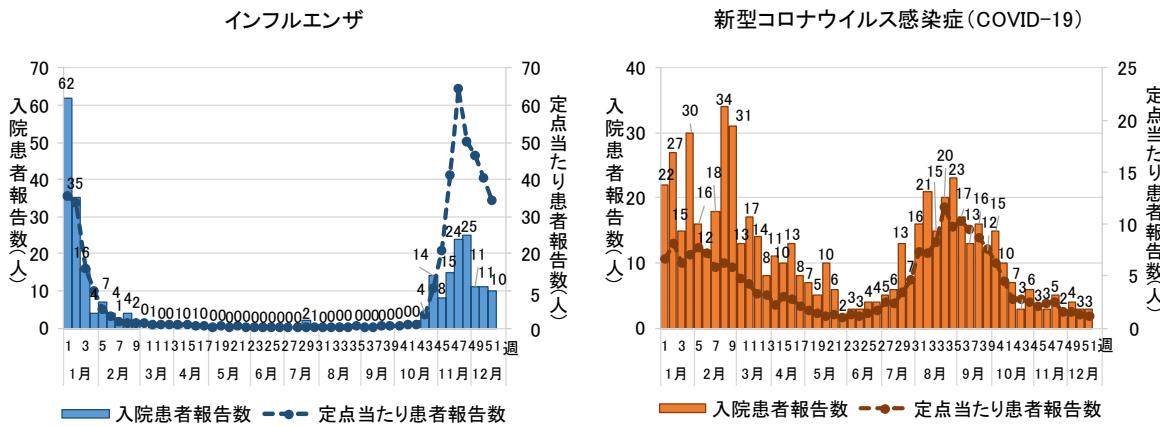
年齢階級別入院患者報告数(2025年第51週(2025年12月15日～12月21日))

疾病名/年齢階級	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	計
インフルエンザ	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

年齢階級別入院患者報告数(2025年累積)

疾病名/年齢階級	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	計
インフルエンザ	12	31	24	8	3	3	5	3	15	17	60	82	263
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	25	20	11	5	4	3	5	10	26	32	152	298	591

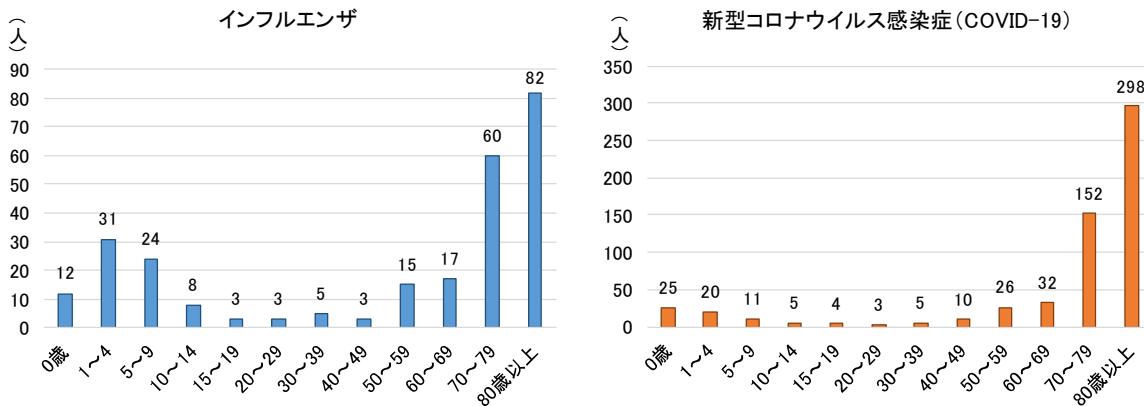
入院患者報告数および定点当たり患者報告数の推移(2025年)



※2025年4月7日（第15週）から急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスが開始されるとともに定点医療機関数が変更されました。

第15週以降は変更後の定点医療機関数を使用して図表を作成しています。

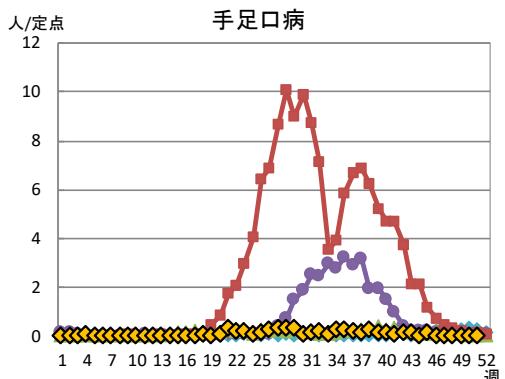
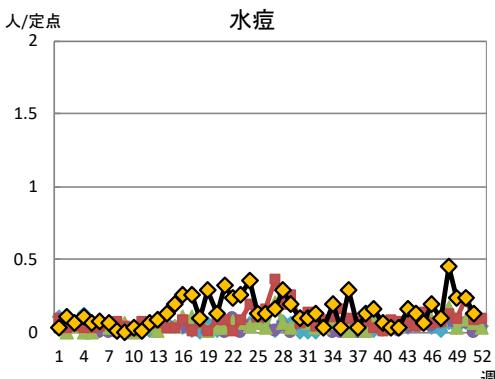
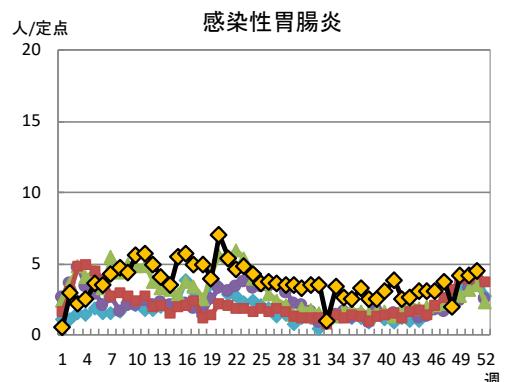
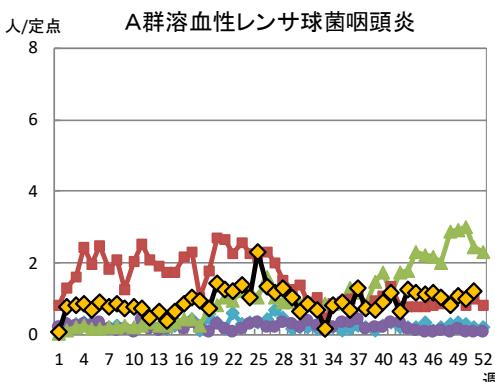
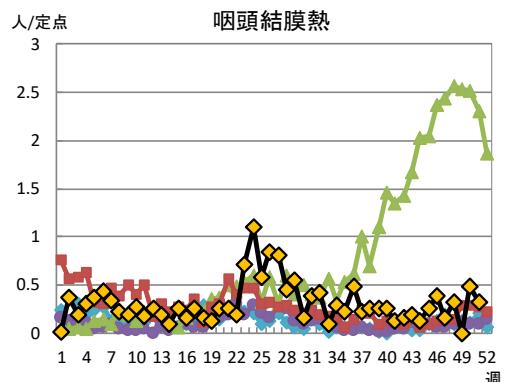
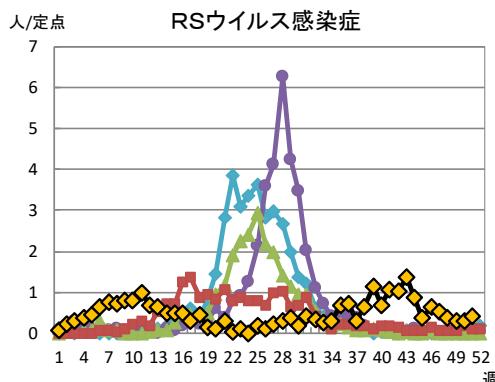
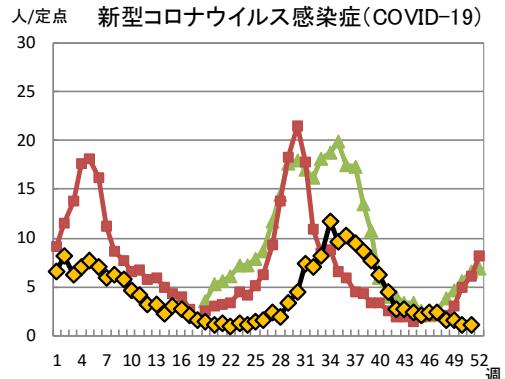
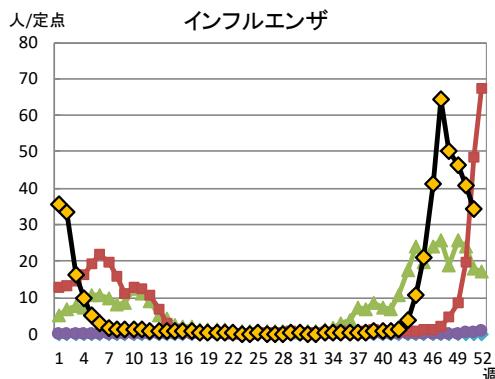
年齢階級別入院患者報告数(2025年累積)



◆急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの

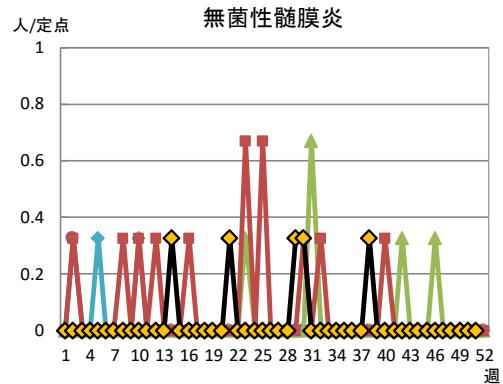
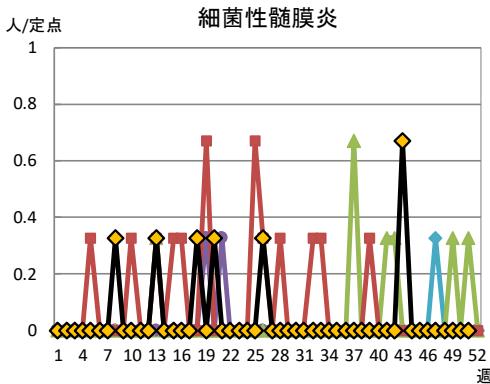
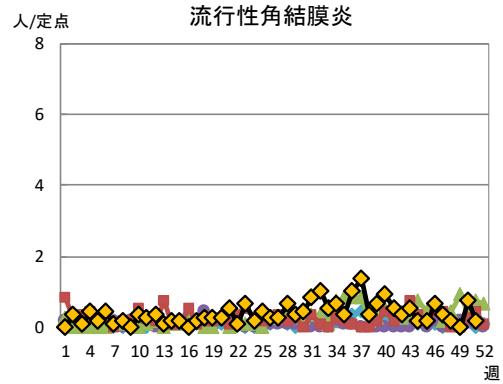
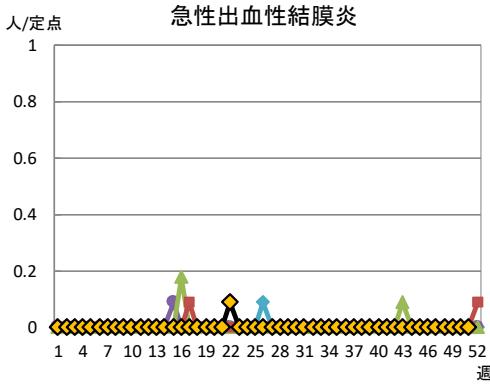
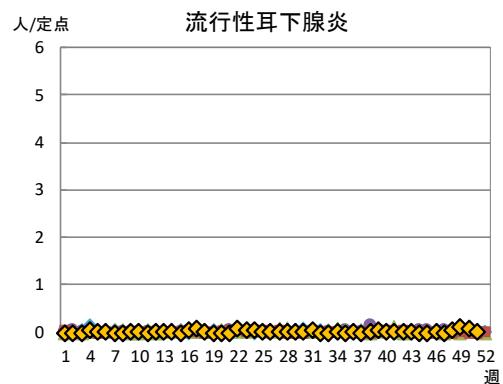
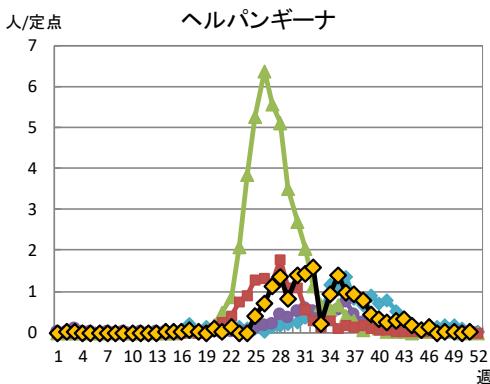
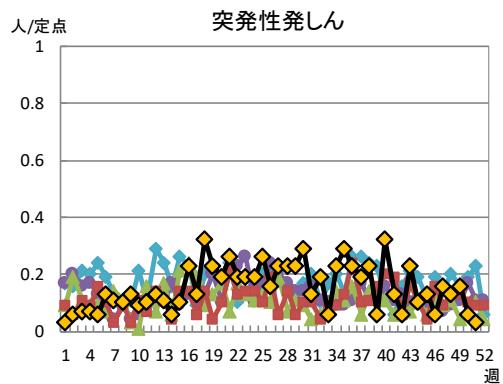
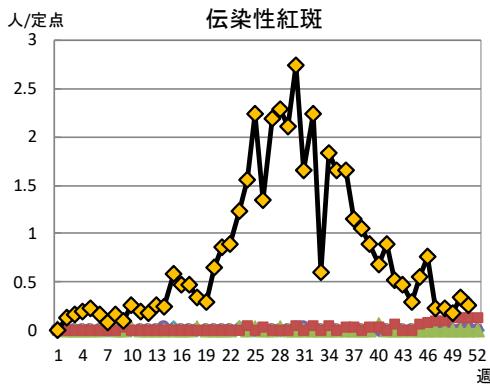
定点当たり患者報告数の推移グラフ(1) 2025年第51週まで

2021年 2022年 2023年
2024年 2025年



◆急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの
定点当たり患者報告数の推移グラフ(2) 2025年第51週まで

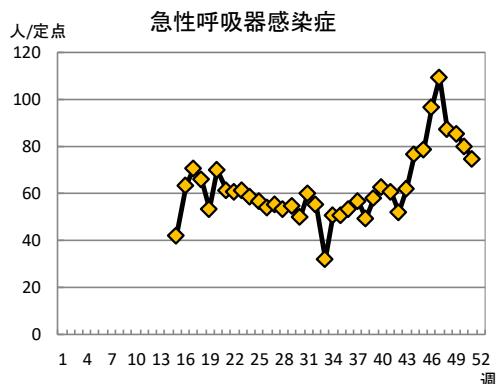
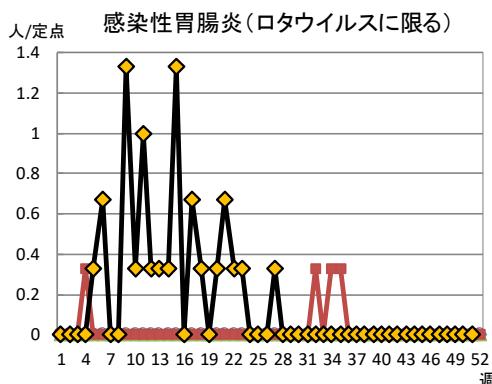
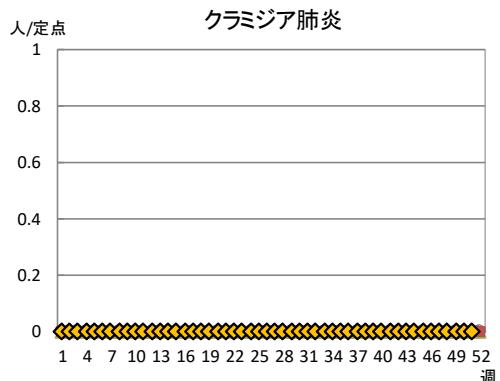
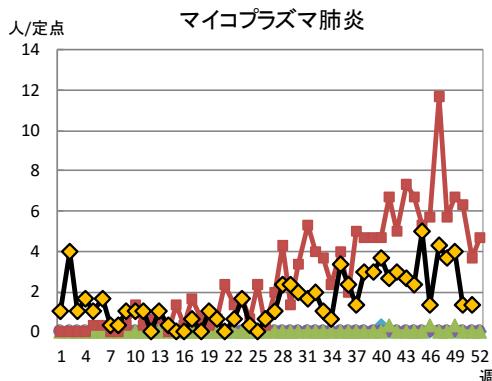
2021年 2022年 2023年
2024年 2025年



◆急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの

定点当たり患者報告数の推移グラフ(3) 2025年第51週まで

2021年	2022年	2023年
2024年	2025年	



※2025年4月7日(第15週)から急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスが開始されるとともに定点医療機関数が変更されました。第15週以降は変更後の定点医療機関数を使用して図表を作成しています。